

第3学年 理科 学習指導案

日時 令和6年1月31日(水)

対象 第3学年3組 36名

授業者 O. Y.

1 単元名 じしゃくのふしぎ

2 本時(全10時間中の第2時)

(1) 本時の目標

・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解する。

(2) 本時の展開

| 時間 | ○学習活動 | □指導上の留意点 | ◆評価規準 【観点】 (評価方法) |
|--------------------------------|---|--|--|
| 導入 9分 | ○前時の学習を振り返る。 ・前時に各班が予想したものを共有する。 | □前時で「調べたいもの」を決め、各班で用意する。 □物の名前だけでなく、物質名を書くようにする。 | |
| 問題 「どのようなものがじしゃくに引きつけられるだろうか。」 | | | |
| 展開 28分 | ○ 実験方法 を確認する。(3分) ・じしゃくに引きつけられるか引きつけられないかを調べる。 ○ 実験 する。(15分) ○ 結果 から 考察 する。 ①個人(相談あり)(5分) ②4人班(5分) | □タブレット等の電子機器や方位磁針、次気カードには磁石を近づけてはいけないことを伝える。 □実験しながらタブレットで結果をまとめる。 □1枚のワークシートで個人の考えと班の考えをまとめる。 □「同じ言葉」「似ている言葉」を見つけること意識させる。 □「付く」「付かない」という表現ではなく「引きつけられる」「引きつけられない」という表現を伝えるよう声をかける。 | ◆【知・技】 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している。 (ワークシート) |
| まとめ 8分 | ○ 結論 をまとめる。(5分) ○ 振り返り を書く。(3分) | □電気を通すものとの違いに注目させる。 □各号車の考察から結論をまとめる。 | |
| 結論 「鉄はじしゃくに引きつけられる。」 | | | |

〈研究の視点〉

- ・「調べたいもの」を子供たちに用意させ、実験を行った点は「児童が主語になる授業」として有効であったか。
- ・結論をまとめるまでの過程を教師ではなく児童が主体的に行えるよう、個人→班で考えをまとめる活動は「児童が主語になる授業」として有効であったか。